

「失敗のメカニズム - 忘れ物から巨大大事故まで -」：芳賀 繁著、日本出版サービス、
ISBN 4-88922-106-9 (定価 1900 円 + 税)、2000 年 1 月



目次

はじめに

- 第一章 : 事故とヒューマンエラー
- 第二章 : 見間違い、聞き間違い、勘違い
- 第三章 : ドジ型とボケ型
- 第四章 : 注意と記憶の失敗
- 第五章 : エラーを誘う設計と防止するデザイン
- 第六章 : 違反と不安全行動
- 第七章 : 人は考えずに行動する
- 第八章 : 安全の文化

あとがき

本書は、1996 年 1 月から 1997 年 11 月まで「建設荷役車両」に掲載した安全講座『事故防止と人間科学』の内容に、著者が安全啓発のために発表した記事などを加筆修正したもので、企業の安全担当者向けに取りまとめられている。第一章の「事故とヒューマンエラー」では、交通事故や労働災害をはじめ、最近話題の医療事故など、身近なヒューマンエラー事例を取り上げ、日常のちょっとしたミスと、社会的に問題となるヒューマンエラーは本質的に同じであることを指摘している。第六章の「違反と不安全行動」では、危険を認識したうえであえて行動するリスクテイキングについて取り上げ、JCO 臨界事故について解説している。第八章の「安全の文化」では、個人のエラーから、その背後要因としてのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション、組織の意思決定など、組織要因の重要性を説いている。第一章から第八章まで読破すれば、人間が犯すミス(エラー)についての手がかりと、対策を考えるためのヒントが得られる。